

対モーリシャス共和国 事業展開計画

2024年 4月 現在

<p>基本方針 (大目標)</p>	<p>持続的な開発・経済成長を支えるための支援</p>											
<p>重点分野1 (中目標)</p>	<p>環境・気候変動対策・防災</p>											
<p>開発課題1-1 (小目標) 環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>【現状と課題】 モーリシャスが一層の経済発展を目指す中で、持続的な開発・経済成長を支えるための環境コストへの配慮が次なる課題となっている。同国はその地理的特性から、サイクロンや突然の豪雨による洪水等の自然災害や気候変動の影響に対し脆弱であり、被害を最小限にとどめるべく、防災体制の構築が喫緊の課題となっている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】 気候変動に対するモーリシャスの適応・緩和に向けた取り組み及び多発する豪雨による斜面災害や洪水等に対する防災システムの整備及び関連人材の育成を支援する。また海難事故等自然災害以外の防災にかかる対応能力強化も支援する。 環境分野については、2022年末に採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」を踏まえ、生物多様性保全に資する又は生物多様性に配慮した取組を支援する。</p>						
	<p>協力プログラム名</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>SDGs</p>	<p>備考</p>
	<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>グラン・ペ地域下水処理施設整備事業</p>	<p>有償</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>70.12</p>	<p>6,11,14</p>	
	<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>気象観測及び予報能力向上プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>2.90</p>	<p>1,11,13</p>	
	<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>経済社会開発計画(防災機材)</p>	<p>無償</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>6.00</p>	<p>11,13</p>	
	<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>モーリシャス国災害リスク削減に向けたデジタル防災情報サービス普及・実証・ビジネス化事業</p>	<p>普及・実証・ビジネス化 事業</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>11,13</p>	
	<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>援助調整専門家</p>	<p>個別専門家</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>17</p>	
	<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>ODAアドバイザー</p>	<p>個別専門家</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>17</p>	
	<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>総合的沿岸生態系管理システム構築プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>5.03</p>	<p>6,13,14,15</p>	
	<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>沿岸域ブルーエコノミーの持続的開発を通じたコミュニティ生計改善プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>3.81</p>	<p>1,2,14</p>	
<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>流出油対応に係る体制能力強化プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>2.31</p>	<p>9,13</p>		
<p>環境・気候変動 対策・防災</p>	<p>環境・気候変動・防災分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>4,8</p>		
<p>重点分野2 (中目標)</p>	<p>海洋安全保障</p>											
<p>開発課題2-1 (小目標) 海洋安全保障</p>	<p>【現状と課題】 広大な排他的経済水域を有するモーリシャスにとって、海洋安全保障は健全な経済活動を支える根幹であり、同国は、海上航行の安全、違法操業、麻薬取締等の取組に注力してきているも、十分に対応できていない状況にある。</p>					<p>【開発課題への対応方針】 海上の治安対策（違法漁業、違法薬物売買等の取締り等）の強化に向け、沿岸警備隊、警察、司法等の能力強化の支援を実施する。</p>						
	<p>協力プログラム名</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>SDGs</p>	<p>備考</p>
	<p>海洋安全保障</p>	<p>経済社会開発計画(海難防止)</p>	<p>無償</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>7.60</p>	<p>16</p>	<p>令和2年度 追加贈与1.6億円含 む</p>
<p>海洋安全保障</p>	<p>経済社会開発計画(海難防止)</p>	<p>無償</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>7.40</p>	<p>16</p>	<p>令和3年度 追加贈与1.4億円含む</p>	

重点分野3 (中目標)	持続可能な経済成長に資する能力強化													
開発課題3-1 (小目標) 持続可能な経済成長に資する能力強化	【現状と課題】 インド洋圏の世界的な位置付け及びブルーエコノミーの重要性が益々高まる中、同国は、アフリカへの投資拠点となることをも目指して、貿易・投資環境整備等の取組に注力してきているも、十分に対応できていない状況にある					【開発課題への対応方針】 同国政府の持続的なマクロ経済運営に向け、デジタル化や人材育成を通じた質の高い成長を支援する。								
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
					2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
			周辺国へのカイゼン・アプローチ普及プロジェクト	技プロ		■■■■■■■■■■						1, 18		
			SDGsグローバルリーダー	国別研修	■■■■								4, 8	
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)	国別研修	■■■■								4, 8	
		国際公法分野の中核人材	長期研修		■■■■■■■■■■						4, 8			
		質の高い成長分野の課題別研修	課題別研修他	■■■■								4, 8		
その他														
その他 個別の案件	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考			
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度					
			経済社会開発計画(保健・医療器材供与)	無償		■■■■■■■■■■						5.50	3	
			保健分野の草の根人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■■■■									
			大陸間奴隷博物館改修計画	草の根文化	■■■■								3	
		教育分野の草の根人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■■■■										

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「国別研修」(＝課題別研修他) (＝課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術) (＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS)) 「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「――」(＝実施期間)、「破線「----」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf